



# 学校だより No.9

令和7年(2025年)度  
児童数612名  
(12月22日現在)

## しっかり聴く子・すすんで活動する子・根気よく取り組む子

8月25日(月)に気温が30度を超える中で始まった2学期も、12月24日(水)で終了です。この4か月間、学校としてめざす児童像である「しっかり聴く子」「すすんで活動する子」「根気よく取り組む子」に関する姿が、様々な活動を通して広がりました。

### 【しっかり聴く子】

11月28日に全校集会「ウォークラリー集会」を実施しました。「縦割り班」という1～6年生で編成するグループで、協力して様々なゲームにチャレンジして歩くものです。例えば「当たったら成功のスイカわり」というゲームでは、低学年が目隠しし、中・高学年が「あと3歩前」「一歩右に動いて」「黒板があった方よ」など方向を細かく伝えて、それを低学年がしっかり聞き取り、「すいかわり」にチャレンジしていました。たとうまくいかななくても、「いいよ、すごく惜しかったよ。」と声をかける姿もあり、異学年で笑顔とともに言葉を交わし合う姿が広がりました。

### 【すすんで活動する子】

西岐波小には「チャレンジ目標」というものがあり、6年生児童による委員会活動の計画を踏まえて取り組んでいます。その一つが「もくもくそうじ」です。週2回、昼休み後に行う20分間のそうじを「黙々」と行うという取組です。運営委員会や整美委員会が中心となって推進してきましたが、この2学期で、黙々と取り組む姿が全学年でとても増えました。昼休みの後なので「気持ちの切り替え」が難しいのですが、掃除の前に情報委員会が放送で流す「切り替えの音楽」をきっかけに、子ども達それぞれが自分の役割に黙々と取り組み始める姿が、一気に感じられるようになりました。

### 【根気よく取り組む子】

11月26日には校内持久走大会を実施しました。昨年は雨の影響で中止となり、今年も前日までの雨の影響で開催が危ぶまれましたが、教職員で朝早くから運動場を整備して、無事実施することができました。子どもたちは、これまでの持久走練習の積み重ねを生かし、呼吸の苦しさ等ある中でもゴールや各自の目標めざして一歩一歩頑張り続ける姿が素晴らしかったです。保護者や地域の皆様のたくさんのご声援が「力」となり、いつも以上の頑張りが引き出されていたとも感じました。

いよいよ年は変わって令和8年(2026年)、最後の3学期となります。学年の締めくくりへ向けて、引き続きご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。(校長 川西 俊之)